

アセアンプラス3 経済閣僚会議（8月15日於バンコク）：共同声明
（仮訳）

1. アセアン経済大臣と中国、日本、及び韓国との第12回協議は、2009年8月15日に、タイ・バンコク市で行われた。今次協議は、タイのポンティワー商業大臣、中国の陳徳銘商務部長、日本の石毛博行経済産業審議官そして韓国のキム・ジョンフン通商交渉本部長が共同議長を務めた。
2. 閣僚は、世界的な経済状況と、アセアン及び北東アジアにおける最近の経済情勢について、意見交換を行った。閣僚は、アセアン+1 FTA、すなわち中アセアン FTA、韓アセアン FTA および日アセアン包括的経済連携協定の、最近の状況について留意した。閣僚は、こうしたアセアンプラス1の取り組みが、東南アジアと北東アジアの経済統合に貢献していることを再確認した。
3. 閣僚は、北東アジア3カ国への物品の輸出が、2007年の1,925億米ドルから、2008年には2,254億米ドルへと、17.1%増加したことに留意した。2007年のアセアンからの北東アジア3カ国への輸出が10.9%であったことと比較して、より増加は大きくなっている。アセアンの北東アジア3カ国からの物品の輸入は、2008年には19.5%と、2007年の15.7%に引き続き加速している。アセアンの北東アジア3カ国からの輸入総額は2008年で2,547億米ドルと、2007年の2,131億米ドルから増加している。
4. 閣僚は、アセアンと北東アジア3カ国の貿易総額が、2008年にはじまる世界的な景気後退にもかかわらず、堅調な状態であることを歓迎した。北東アジア3カ国との貿易は、2008年には4,801億米ドルと、2007年の4,055億米ドルから18.4%増に達し、アセアンの貿易総額の28.1%を占めた。
5. 閣僚は、一方で、北東アジア3カ国から直接投資額が、2007年の127億米ドルから2008年には103億米ドルへと急激に減少したことに留意した。2006年から2008年の、北東アジア3カ国からの累積海外投資額は、アセアン域内の直接投資19.3%を含む355億米ドルとなる。
6. 閣僚は、東アジア自由貿易地域（EAFTA）の専門家会合による、EAFTA第2フェーズ研究の最終報告書が提出されたことを歓迎した。アセアン+3の高級事務レベルは、閣僚から2つのEAFTA報告書（第1フェーズ及び第2フェーズ）の提言について、議論・考慮し、いつどのような形で原産地規則、関税分類、税関手続及び経済協力に関するワーキンググループを形成するかについて、次回の高級事務レベル会合までに、報告を提出することとなる。

7. 閣僚は、貿易円滑化及び自由化をアセアン+3 メンバー間で進め、域内の競争力を高め、域内経済を活性化するべく中小企業の育成を強く支援することによって、現在の危機を、域内貿易・投資の拡大のための契機に転換することに合意した。閣僚は、基準認証、情報技術、税関協力などを含む幅広い範囲を含む経済協力プロジェクトの継続的な進展に留意した。
8. 閣僚は、ドーハ・ラウンド交渉の現状について、2009年6月9日にインドネシアのバリ島にて発出されたケアンズグループの閣僚によるバリ・コミュニケや、2009年7月9日にイタリアのラキーラで行われた G8 プラス 5 首脳会議の「世界的アジェンダの推進」共同宣言の観点から意見交換を行った。
9. 閣僚は、2010年までに交渉を早期かつ成功裏の妥結に導くべく、協力することにコミットした。
10. また、閣僚は、ラオスの WTO 加盟に向けた努力を支持する点について、再確認した。
11. 閣僚は、シンガポールで 2009年7月21日と22日に開催された APEC 貿易大臣会合の成果について意見交換を行った。閣僚は、APEC 首脳会議が、2009年11月14日から15日にかけてシンガポールで行われることに留意した。
12. 閣僚は、2009年10月にタイのバンコクで開かれる予定のアセアン+3 首脳会議に向けた準備状況について留意した。